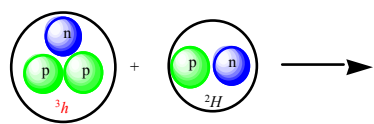
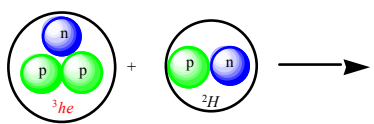


137億年の「もの」がたり正誤表 (2刷)

ページ	行	誤	正
4	2	アインシュタインすら それ を	アインシュタインすらこのモデルを
29	Scheme 最終行		
34	下から 9	まき散らされた鉄などの	まき散らされた鉄 56 (⁵⁶ Fe) など
47	下から 3	周期が違い、電子を入れ	周期が違い、ヒ素 (As) では電子を入れ
53	表 1 下から 7	シアンアセチレン	シアン化アセチレン
55	下から 6	4 個の水素原子に空間的に	4 個の水素原子を空間的に
91	Scheme	ユレーとミラーの実験	図 6.2 ユレーとミラーの実験
107	図 7.4	図 7.4 RNA の複製は常に	図 7.3 RNA の複製は常に
108	図 7.5	図 7.5	図 7.4 DNA 中のスパーサー
109	図 7.6	図 7.6 スプライシング	図 7.5 スプライシング
109	8	コドンの組み合わせは全部で…	コドンの組み合わせは 4 種類の塩基を 3 組使って並べる順列の数として、全部で…
109	下から 1	はおしまい」という号令である。	…という号令である (図 7.7 参照)。
110	図 7.6	図 7.7	図 7.6
111	図 7.7	図 7.8	図 7.7
112	図 7.8	図 7.9	図 7.8
121	2	の反応中心は P680* ² ⇌ P700 を含む	は P700* ² であることもわかった。
121	4	反応中心は P680* ² ⇌ P680 を含む	中心は P680* ² であることもわかった。
124	Scheme	典型的な葉の構造 (図 8.3 典型的な葉の構造 (
127	図 8.3	図 8.4	図 8.4
129	図 8.4	図 8.4 ハッチースラック回路	図 8.5 ハッチースラック回路
132	図 8.5	図 8.5 光呼吸回路	図 8.6 光呼吸回路
149	図 10.3	図 10.3	図 10.3 膜電位によるチャンネルの開閉
149	図 10.4	図 10.4	図 10.4 活動電位の伝達
153	図 10.5	図 10.5	図 10.5 シナプス間隙での刺激伝達
176	図 12.1 図の説明	(a) シタロメズキ 、 (b) ディキンソニア 、 (c) トリプラチジウム 、(d) (a, b) … (d) 提供)	(a) ディキンソニア、 (b) トリプラチジウム、 (c, d) 新しく発見された 3 次元の化石 (… (a, b), … (c, d) 提供) および 写真の (b) と (c) を入れ替え
191	下から 8	cm ³ もあり、前頭葉下部と	cm ³ もあり (図 12.8a)、前頭葉下
192	図 12.8	図 12.8 (群馬県立自然史博物館)	図 12.8 ホモ種の頭蓋骨の大きさの比較 (群馬県立自然史博物館)
196	図 12.11	図 12.11	図 12.10